

CRD-1は先閉りの扉(子扉)が閉った状態のとき、突起物が何も出ません。



CRD-1 親扉・子扉が開いた状態



CRD-1 子扉が先に閉まった状態

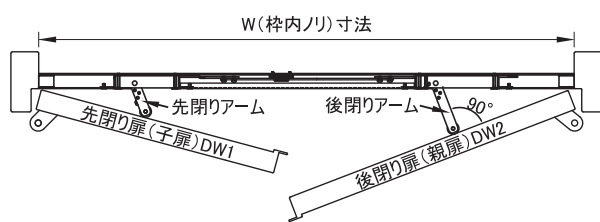
普及型の順位調整器は、中央部のアームが長く突き出ている、アームが垂れ下がることもあり、美観を損ねていました。



従来工法 子扉が閉じた状態



従来工法



【 特長 】

- 開口部の美観を極力損なわないように両サイドにアームを振り分けた機構を採用し、コンパクトに設計された連動式閉鎖順位調整器です。
- アームとスライダーが特殊な構造で連動するため、作動を小さく抑え、動作性がスムーズです。(PAT.P)
- 後閉りアームユニットのアーム角度調整は、プラスドライバーにて簡単に調整できます。
- W(枠内ノリ)寸法に合わせてカットする、セミオーダー品です。

• 適応扉幅
DW1+DW2=1100~2200mm

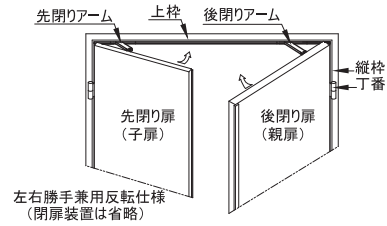
• 適応扉厚
Dt=40~60mm

商品番号	商品名	1セット価格	材質	仕上げ	入数	単位
125-800	連動式閉鎖順位調整器 CRD-1	・ 22,000	SUS304	ヘアライン	1	セット

連動式閉鎖順位調整器 CRD-1

適用扉範囲

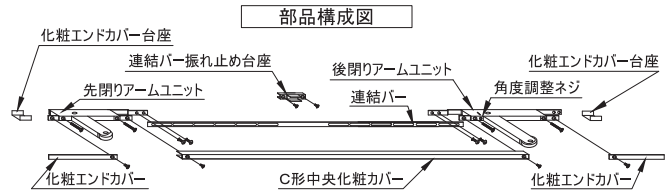
ヒンジ持出し寸法 H	扉厚 Dt	後閉り扉(親) > 先閉り扉(子)	
		後閉り扉幅(親) DW1	先閉り扉幅(子) DW2
15~40	40~60	800~1100	300~1100



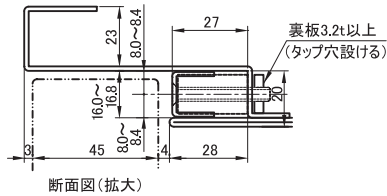
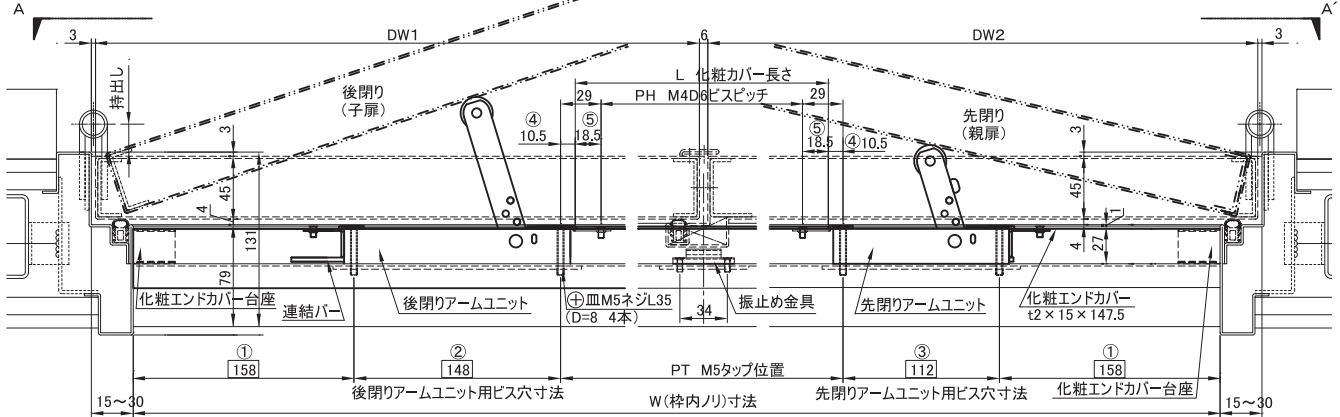
左右勝手兼用反転仕様
(閉扉装置は省略)

ご注意

- 適用範囲を超える場合は、お問い合わせください。
- 扉幅(親+子)は、 $DW1 + DW2 = 1100 \sim 2200\text{mm}$ の範囲にてご使用ください。
- ご発注の際は、現場の縦横断面図をご提示ください。

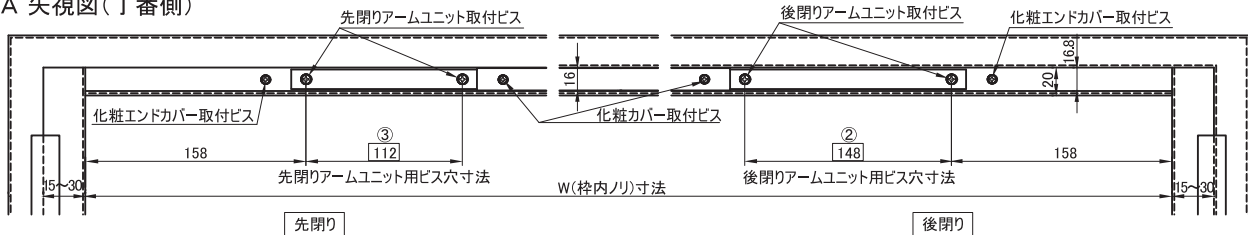


平面図 丁番側から見て左が先閉りの場合



寸法位置	寸法算出公式
縦枠内リ寸法 W	
M5タップ位置 PT	$PT = W - ((1) \times 2) - (2) - (3)$
化粧カバー長さ L	$L = W - ((1) \times 2) - (2) - (3) - ((4) \times 2)$
M4D6ビスピッチ PH	$PH = L - ((5) \times 2)$

A-A' 矢視図(丁番側)



枠内部取付ビス穴加工位置



※逆勝手の場合は、上図の左右反転のピッチとなります。(丁番側から見て右が先閉り=子扉)
 ※枠内部取付ビス用の裏板(タップ穴付)を必ず設けてください。